

島人に支えられ、 漁と農を夫婦で兼業

農漁業／イターン 鎌倉秀成・今日子

憧れだった島暮らし

私はもともと島が好きで、若い頃はワーキングホリデーのような形で国内外の島で過ごした時期もありました。

島暮らしがしたいと考えながら、日々の生活や仕事に追われ、何となく踏ん切りもつかずにおりましたが、十島村の移住に関する情報をネットで見つけたときは、とうとう島への移住のチャンスが訪れたと感じました。

まずは情報を集めながら、実際に島を見てみないことには始まらないと、妻と二人で下見に行くことにしました。

初めて悪石島を訪ねた際の印象は、とにかく子どもたちが港に集まっていたことに驚きました。それまで勝手な思い込みで、島などは過疎が進んで子どもたちも少ないと思っていたい

ましたし、妻が妊娠中でもあり、移住にあたって子育ての環境が気がかりでした。

まず、住宅や仕事について役場に相談したところ、タイミング良く村営住宅も空いていて、とりあえず住居のほうは確保できました。

引っ越した日にも、驚くことがたくさんありました。当日、港で住民の皆さんが、私たちのために歓迎の横断幕を掲げてくれたのです。すごく感動しましたし、移住を決めて良かったとあらためて感じました。引っ越し作業も、島の方たちが手伝ってくれました。専門の引っ越し業者よりも早いくらいで、びっくりしました。

農地を開墾、先輩について漁を教わる

初めて第一次産業に本格的に挑戦したわけですが、半年



悪石島：鹿児島県の南約300km、吐噶喇列島のほぼ中央に位置する。面積7.49km²、人口80人(平成30年1月末現在)。畜産業(仔牛出荷)や漁業、農業が主産業。最近ではヒサカキという枝物生産にも取り組む。また、むかしから大名タケノコの産地で、シーズンは島を挙げての出荷となる。



初めて悪石島を訪ねた2016年の夏、自治会長の有川和則さん(左)から島の話聞く(写真/小林 恵)。

くらいは地に足がついていない感じで、今になってようやくしたかったことをやり始めたという感じでした。

まず、農業から始めることにしました。農地を開墾し、整地するところからです。地元の皆さんに協力してもらいながら、自分でも開墾を行い、今は畑で島ラッキョウを中心に栽培しています。将来的には、島バナナや、そのほか島の環境に合った農作物も栽培してみたいと考えています。

買い物については、慣れるまで少し戸惑いがありました。悪石島には商店がありませんので、食料品は鹿児島島の生協などにファックスで注文、週二便の村営フェリーで届きます。はじめはどれくらい買えばいいかわからず、周りの方

たちに聞いたりしました。今では慣れたもので、だいたい一週間分くらいの食料をまとめて購入してやっていく感じです。

いよいよ漁業ですが、最初は島の先輩漁師の船に乗せてもらいました。少しずつ経験を積んでいきたいのですが、やはり先達は違います。

同じ場所と同じように釣っているはずなのに、釣れる量がまったく違うのです。

いまは、悪石島と小宝島のちょうど真ん中あたり、カッパ曾根と呼ばれる海域を中心に漁をしています。底物のキンメダイやチビキ(ハマダイ)など、高級魚に分類されるような魚を中心に、一本釣り漁を行っています。

初めて市場に出荷するときも、先輩漁師に教わりながらでした。普通、大きな漁港などに市場があって、そのまま水揚げすると思うのですが、十島村は島に市場がないので、一旦島に揚げたものを氷詰めし、村営のフェリーに載せて鹿児島島の市場に出荷します。初出荷は本キンメダイとホタテ(アオダイ)などでした。その時の感動は、今でも忘れていません。漁師としての一歩でしたし、仕事の結果がお金になることを実感し、非常にやりがいを感じました。

将来はゲストハウスの経営も

念願の船も購入し、漁を本格的に開始できると意気込んでいたのですが、すぐにエンジントラブルが勃発。島の手伝いに来てくださり、何とか漁ができるようになりました。漁師は、自然が相手の仕事になります。先輩漁師は何気なく、そして簡単に漁をしているようで、まったく見えな海の中では、自然との駆け引きがあり、非常に難しく、探求心をくすぐられます。

今はまだ新米漁師で、操船や仕掛け、漁場など覚えな
いといけないことはたくさんありますが、すべてが新鮮で楽
しみの連続です。

まずは漁業を軌道に乗せること。将来は、ゲストハウス
のような宿泊施設の経営もやっていきたいと思っています。
これからの悪石島での暮らしが楽しみです。（秀成）

子どもは島の宝

島で暮らしたい、漁師になりたい。二〇一六年の夏、夫
から打ち明けられました。

何となく今の仕事を続けて、今の場所（高知県）で暮ら
し続けることもできる。けれど、きつと単なる現状維持。
私は心からやりたいことに熱中し、楽しんで仕事をする夫
を見てみたいと思い、その年の冬に悪石島に移住しました。
初めて島に訪れた時、港に幼い子どもがいたのですが、
どの女性がその子のお母さんなのかわからないくらい、代
わる代わるに抱っこされている光景に嬉しくなりました。
当時妊娠中だったので、生まれてくるわが子もこんなふう
に育っていくのかなと想像しました。

移住後、妊婦検診のたびにフェリーに一〇時間揺られ、
鹿児島市内の助産院に通うのは、ちょっとした旅でした。
ですが、見送りの際にお弁当を持たせてくださったり、フ
ェリーで居合わせた住民の方が船酔いしてはいけないと気
遣ってくださったり、子は島の宝、生まれる前から本当に

大切にしていただ
いております。

鹿児島市内で出
産後、初めて島に
戻った時には、生
まれてきた子ども
の名前が書かれた
横断幕を堤防に掲
げて迎えてくださ
り、感激したので
覚えています。

最近では島に保育
施設も新設され、

子ども同士遊ぶことができますし、母親同士おしゃべりし
たりと、楽しく利用しています。新米母の私はベテランの
お母さんたちに相談もでき、この島では育児で孤立する
という心配はなさそうです。

多くの方々に支えられて

仕事は、漁業と農業を兼業していますが、どちらも素人。
畑を開墾するところから島の皆さんの手ほどきを受けつつ、
あらゆるものが手探りのあつという間の一年でした。

昨年末に念願の漁船を購入したのですが、北隣りにある
平島（へいしま）の漁師さんが一緒に船を走らせ、鹿児島港から悪石島



鹿児島で出産した長男の帆汰（はんた）君をつれて戻った
時、島の方々が横断幕をつくって歓迎してくれた。

島からのメッセージ

◎皆と協力しながら一人前の漁師に

悪石島は、人口が年々減ってゆき、5年くらい前が一番少なく、55人にまで減少していました。このままでは、島での行事や作業を維持できなくなる可能性があったため、島を挙げて移住者を受け入れる体制づくりに取り組んできました。そのお蔭もあり、近年は徐々にではありますが、人口が増えてきました。

そのような中、島への移住を検討していると訪れてきたのが、鎌倉さん夫婦でした。

その時は、旦那さんのほうが島に来たくて、奥さんのほうは少し不安があるような感じでした。でも、非常に明るい夫婦で、前向きな印象でした。

下見を終え、しばらくして島に移住したいとの話を聞いたときは、嬉しく思ったことを覚えています。また、漁師になりたいという動機で移住して来られましたが、私も漁師ですから、同じ仲間が増えることはうれしく感じます。一緒に船に乗せて漁をするときは、本当に楽しそうに漁をされるのですよ。

確かに漁は、自然相手の仕事なので、思うとおりにいかないことも多いし、予期せぬ船の故障などもあります。

先日、船を購入したことで、これからが本当の漁師になるためのステップとなります。大漁の時もあれば、壁にぶつかるところもあると思います。そこでへこたれず、前向きに頑張ってほしいですね。

私の持っている技術だったら教えますし、船が故障したら漁師たちで修理などを行うのが島のいいところなので、皆と協力しながら立派な漁師になってほしいと思います。

(悪石島自治会長 有川和則)

鎌倉秀成 (かまくら ひであき)

1979年高知県生まれ。専門学校卒業後、住宅設備会社や製造業を経て、憧れの漁師になるため2016年に夫婦で悪石島へ移住。現在は、農業にも従事しながら、本物の漁師になるため日々奮闘中。

鎌倉今日子 (かまくら きょうこ)

1984年東京都生まれ。大学を卒業後、カフェで勤務。夫とともに悪石島へ移住。現在は1児の母として子育てに奮闘中。最近、農業も始めた。

こうやってたくさんの方々の応援を受けて、夫は少しずつ漁師になっていきます。立地の不便さや、自然の力に心が折れそうになることもありますが、ひとつひとつ乗り越え、そのたびに人との繋がりを強くし、温かさを味わいながらここで暮らしていけたらいいなと思います。

(今日子)

までの運搬に付き合ってくださいました。明るいうちに帰るはずが、真つ暗になつての帰島でした。小さな島なので港の灯りはほとんどありません。軽トラで駆けつけた島の漁師先輩方が、ヘッドライトであたりを照らして迎えてくださり、無事に着岸できた時には涙が出そうになりました。そんなこんなで、ようやく夫も漁に出られるんだと思います。エンジンに不具合があつて大騒ぎ。先輩方が知恵を

貸してください、しまいには六〇キロも離れた口之島の漁師さんまではるばる修理に来てくださいました。ほんとうにみなさん自分の持っている技術や知恵をスツとさしだしてください。ひとつの出来事から人との繋がりが島を超え、あれよあれよと拡がってゆく素敵な体験でした。いま感じている充足感は、あの時、現状維持を選択していたら得られなかったらと思ういます。